



皆様の「快適な暮らし」のヒントに

すまい造りメール

第213号 2019年12月号

SINCE 2002.4.1.

発行日令和1年12月1日
発行元有限会社佐野工務店
〒237-0068
横須賀市追浜本町1-25
TEL 046(865)4010
FAX 046(865)6139
http://www.sano-k.net/
info@sano-k.net

壹円切手

消費税増税に伴い郵便料金も値上がりしました。そこでクイズです。

Q) 1円切手のこの人物はいったい誰でしょうか？

A) 明治初めに日本に郵便の基礎を築き「日本近代郵便の父」と呼ばれた前島密



(まえじま・ひそか)です。郵便関連のほか、江戸遷都、国字の改良、電信・電話、鉄道、教育などその功績は多岐にわたります。晩年、横須賀の芦名に別邸・如々山荘を設け、84歳の天寿を全うするまで隠居生活を送りました。没後100年の節目となる今年の4月27日に浄楽寺で式典が開催されました。「縁の下の力持ちになることを厭うな」が彼の信条でした。



我利我利と自利利他

仏教の言葉で、「我利我利」とは、「自分さえ良ければいい」という考え方で、それとは逆に、「自利利他」とは、「幸せになるためには、相手を思いやりなさい」という考え方を言います。自利とは、自己の修行により得た功德を自分だけが受けとることで、利他とは、自己の利益のためだけでなく、他の人々の救済のために尽くすことを言います。この自利と利他を完全に両立させた状態に至ること、つまり、相手の幸せを思ってかけた言葉や行動は、必ず、自分自身への思いやりという形でもどってくるという教えです。



(日蓮宗法福寺「御会式」法話より)

皆様のご愛顧、ご愛読に感謝申し上げます
創業 1960.1.20. 創刊 2002.4.1. Next100

よこすか文学館

<48>

横須賀に生まれ育ち、高浜虚子の俳句理念を継承し、長年にわたり活動を続けた俳人高田風人子をご紹介します。

今もある

料亭小松

冬日和

高田風人子

第十二回 (十二月の俳句)

第4句集『四季の巡りに』(2016年)所収。「小松」は著名な老舗料亭、浅田勁『海軍料亭 小松物語』(かなしん出版)によれば、1885年の開業以来、西郷従道、東郷平八郎、山本五十六といった日本海軍の錚々たる軍人が訪れました。戦後も在日米国海軍や海上自衛隊関係者に利用されてきました。掲載句は2007年の作で、小松の長い歴史を称えた句ですが、残念なことに2016年5月、火事のため全焼、歴史に幕が下ろされました。



洗足学園中学高校教諭 中島正二

昭和33年から新築工事やリフォーム工事、住宅設備のメンテナンスを担当させていただいているお住まいをご紹介させていただきます。

今回は、ブロック塀の補強工事とエクステリア工事です。地震等の災害によるブロック塀の倒壊または転倒による被害を未然に防ぐ目的である横須賀市の「危険ブロック塀等緊急対策補助制度」を利用した工事です。

「前略 おせわ様。その後いかがお過ごしですか。」

この制度は、ブロック塀等の撤去や同時に行う軽量なフェンス等の設置工事に要する費用について、合わせて最大で40万円が補助される制度です。但し、横須賀市の場合、来年の3月31日までとなっています。補助対象となる工事は、道路・公園・その他の公共的な場所に面している安全性が確認できない高さが1mを超えるブロック塀等に傾きやひび割れがある場合等に限りません。(参考資料:横須賀市役所危機管理課)

横浜市や逗子市でも同様の補助制度があります。詳細につきましては、それぞれの窓口にお問い合わせください。



横須賀製鉄所物語（小栗上野介④）＜60＞

52年11ヵ月の間、都市政策を中心に横須賀市の発展に寄与され、最後の8年間は2期に亘り、横須賀市助役として活躍された井上吉隆氏に横須賀製鉄所についてお話を伺いました。

咸臨丸は、築地から浦賀に向かい3日間停泊して食料・水・薪などの必要物資を積み込み、安政7年（1860年）1月19日に浦賀を出港しました。

この出港は、正使の乗船したポーハタン号よりも3日早いものでした。本来ならば、正使の軍艦に同行すべきでしたが、アメリカ人の運航する軍艦よりも一日でも早くアメリカに到着したいという咸臨丸の乗組員の気持ちがそうさせたのではないのでしょうか。

江戸湾を出て太平洋に入ると、木村摂津守の心配していたことが的中しました。木村摂津守の予想をはるかに超える時化となり、激しい暴風雨に咸臨丸は翻弄され、当時の日本海軍のトップクラスの乗組員には全く手も足も出ない状況で、ただ船室で暴風雨の収まるのを待つのみでした。この時、操船の指揮をとったのは日本人の乗船を拒否したアメリカ人のブルック大尉でした。その指揮により行動できたのはアメリカ海軍の兵隊10名で、日本人は船酔いで行動できず、わずかに数人の人たちが作業に当たりました。アメリカ人乗組員は大きく揺れ振り落とされそうになりながらも、平然とマストに登り裂けた帆の取り外しや帆の上げ下ろしや畳み込みなど、日本人では想像もつかない作業を的確に処理したのでした。



日本の教授方頭取勝麟太郎は自室にこもりきりで、何の指示もできないまま過ごし、陸地が近づき、船の運航が安定してから指揮者として振る舞おうとしたので、乗組員からは支持は得られず、ことごとく乗組員との間でトラブルを起こしていたとのことでした。

坂本藤良著『小栗上野介の生涯』によると「全航海中の三分の二以上はブルックが指揮をとった。全航海38日間のうち天気がいいのは4、5日間しかなかったのである。もしブルックらがいなかったら、咸臨丸は難破していた可能性がある」と記しています。しかし、勝海舟の『氷川清話』によりますと「万延元年に咸臨丸に乗って、外国人の手は少しも借りないで亜米利加へ行ったのは、日本の軍艦が外国へ航海したのは、おれが初めてだ」と記されています。この記述がもとになってかつての日本史の教科書には、日米修好通商条約の記述は全くなく、咸臨丸が日本人の手によって太平洋を横断したとの壮挙が記載されました。ただし、現在の教科書からは外されましたが…。

日本史の幕末期はもう一度手に取ってみることが必要ではないでしょうか。

（元横須賀市助役 井上吉隆）

お世話になりました

皆様におかれまして、2019年はいかがでしたでしょうか。弊社は地元のお客様のリフォーム、介護保険制度を利用した住宅改修工事を中心に取り組んで参りましたが、9月と10月に日本列島を直撃した台風の影響から、その後の予定がまったく組めず、現在に至るまで、皆様にご迷惑をおかけすることとなり申し訳ありません。雨漏りを最小限にとどめるような（実際には多少の雨漏りでご迷惑をおかけしていますが）応急処置に1ヶ月あまりを要し、10月に入り、ようやく本格的な補修工事に着手できるかと思いましたが、工事が集中しているため、また、以前から予定されていた工事と並行しての作業となるため、工事の予定が組めずに現在に至っているのが現状です。また、「よこすか産業まつり」も会場の安全性を重視した結果、中止が発表され、毎年楽しみにいただいていた方々にまで残念な思いをさせてしまいました。

少しでも早い、正常な営業にもどるべく、努力を重ねて参りますので、今しばらくお待ちいただけますでしょうか。よろしく願い申し上げます。皆様におかれましては、来年一年が良い年になることを心よりお祈り申し上げます。



雷神社の紅葉
（撮影2015年12月）

お問い合わせ

住まいに関する皆様の疑問や質問、お知らせしたいことや情報などがございましたら、ご連絡ください。郵送の停止を希望される場合や、バックナンバーを希望される場合など、ご遠慮なく、お申し出ください。

尚、ホームページより「**すまい造りメール**」創刊号からのバックナンバーをはじめ、追浜周辺の地図「Oppamap 2019」A-9歩ZONE版（永久保存版）をダウンロードすることができますので、アクセスしていただき、ご活用ください。

皆様の「快適な暮らし」のヒントになることができましたら幸いです。

〒237-0068 神奈川県横須賀市追浜本町1-25 有限会社佐野工務店
TEL 046(865)4010 FAX 046(865)6139

すまい造り

検索